

春の火災予防運動

3月1日
3月7日



火災は命や財産を奪う大変恐ろしいものです。空気が乾燥し火災が発生しやすい季節ですので、火災に対し十分な備えをしましょう。家族や近所の助け合いを大切にして、みんなで声をかけあって火災予防に取り組んでいきましょう。

問い合わせ

知多中部広域事務組合消防本部 予防課 ☎0569-21-1491



火災の件数

令和3年中の知多中部管内(東浦町、半田市、阿久比町、武豊町)では計79件の火災が発生。昨年と比較して火災の件数は9件増加しました。火災による負傷者は12名、死者は4名です。

少しの油断から火災は発生します。火気の取扱いなど十分注意してください。

種 別	令和3年件数(前年比)
建物火災	42件(+11件)
車両火災	4件(-2件)
その他火災	33件(±0件)
合 計	79件(+9件)



住宅用火災警報器の点検を実施しましょう

住宅用火災警報器は、火災をいち早く知らせてくれる機器です。きちんと作動するように、日頃の維持管理が大切です。

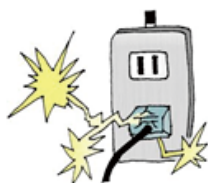
- ・定期的に点検ボタンなどで、メッセージや警報音が鳴るかの作動確認をしましょう。鳴らない場合は、電池がきちんとセットされているかを確認し、それでも鳴らない場合は電池を交換してください。
- ・機器には交換時期があります。おおむね10年経った機器は交換しましょう。

出火原因

- 1位 火入れ 11件
- 2位 たばこ 10件
- 3位 電気機器およびたき火 8件

火入れ*やたき火が原因で発生した火災の多くは、風の影響で大きく燃え広がったり、周囲の枯れ草などに火の粉が飛んだりしたことで発生しています。空気が乾燥して風が強いときは、屋外で火を使うことをやめましょう。

また、電気機器による火災も例年より増加しています。中でも、プラグやコンセントに付着したほこりが水分を吸収し、そこからわずかな電気が流れ、発熱・発火するという「トラッキング現象」が全国的に増加しています。日常生活でも、プラグやコンセントのほこりを清掃し、不必要なプラグは抜くように心がけましょう。
※火入れ…農作業などで枯草や雑木などを焼くこと



住宅用火災警報器の取付けを支援します

住宅用火災警報器を購入しているが取付けていない方で、①～④にすべて該当する世帯には、消防職員を派遣し、住宅用火災警報器の取付けを行います。

- ①購入したものの、個人で取付けることができない方
- ②親戚や近隣の方などに取付ける協力が得られない方
- ③東浦町、半田市、阿久比町、武豊町在住の方
- ④平日の午前9時～午後4時の間に取付け可能な方

※取付け料金は無料

※電池式の住宅用火災警報器に限る